

2023 年度

第 35 回

守谷市国際交流協会  
総会資料

守谷市国際交流協会

# 2023 年度 第 35 回守谷市国際交流協会総会

日時:2023年 5 月 21 日(日)  
場所:守谷市国際交流研修センター

## 次 第

### ◎総 会(13:30~14:45)

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 来賓あいさつ

4. 議長の選出

「守谷市国際交流協会規約 第9条(会議)」による

5. 議 事

議案第1号 2022 年度活動報告について

議案第2号 2022 年度決算について

議案第3号 監査意見書について

議案第4号 2023 年度事業計画について

議案第5号 2023 年度予算について

議案第6号 規約の改正について

議案第7号 役員改選について

報告第1号 日本語パートナーズラオス短期派遣について

報告第2号 守谷市青少年海外派遣事業について

報告第3号 姉妹都市学生訪問団来市について

### ◎帰国報告会(15:00~16:00)

「国際交流基金の日本語パートナーズラオス短期派遣に参加して」

～肌で感じた国際貢献 感動と充実の12日間～

発表者:浅川恭子、蔭木隆、川名敏子、塩澤真結、横張日菜子

※12:30~13:15 Welcome to MIFA

理事会及び運営委員会

月 日	活動内容	会場	人数
4 月 2 日	第 1 回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・ウクライナ支援の第 1 回募金活動(4月3日/守谷駅前広場、朝市での募金活動/募金額166,090円) ・newsletter 69(3月25日全戸配布) ・市役所から ①マインブルク市学生訪問団の来市(7 月予定) ②4 市(常総市、守谷市、坂東市、つくばみらい市)連携でのウクライナ避難民支援	ログハウス	15 人
5 月 7 日	第 1 回理事会 ・総会資料の審議、校正 ・定期総会を书面議決にすることに決定、会員宛に案内発送	ログハウス	24人
5 月 7 日	第 2 回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・ウクライナ支援の第 2 回募金活動(5月1日/守谷駅前広場 朝市、ランチ守谷での募金活動/募金額 61,290 円) ・第3回グローバルテントの開催(5月1日守谷駅前朝市) ・市役所から ①姉妹都市マインブルク市学生訪問団の来市(7 月予定)/ホームステイ受入家庭募集 ②4市連携ウクライナ避難民支援「ひまわり募金」	ログハウス	16 人
6 月 4 日	第 3 回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・MIFA フェスタ(10月23日/ランチパーク守谷)実行委員会の発足 ・市役所から 4市連携ウクライナ避難民支援ネットワーク会議の発足	ログハウス	16 人
6 月 15 日	定期総会書面議決⇒承認・成立		
7 月 2 日	第 4 回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・ウクライナ支援の第 3 回募金活動(6月5日/守谷駅前広場、朝市での募金活動/募金額 61,290 円) ・2023 年度交付金申請(7 月 8 日提出)	ログハウス	19 人
8 月 6 日	第 5 回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・市役所から 姉妹都市マインブルク市学生訪問団(7 月予定の変更)⇒9 月 20 日(火)～9 月 26 日(月) 10 人(学生 7/引率 2/副市長)	ログハウス	14 人
9 月 3 日	第 6 回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・MIFA フェスタ実施の最終確認 ・ウクライナ大使講演会(10 月 1 日/中央公民館)の実施確認	ログハウス	16 人

10月8日	第7回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・姉妹都市マインブルク市学生訪問団に対する日本文化体験(箏、習字、投扇興)の実施(9月20日/参加者30人) ・MIFAパンフレット改訂版の作成 ・ウクライナ大使講演会(10月1日/中央公民館)の報告(参加者195人/支援募金184,700円) ・市役所から 姉妹都市(グリーリー市)からの訪問(2023年度に来市の予定)	ログハウス	17人
11月5日	第8回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・MIFA フェスタの実施報告(10月23日/ブランチパーク守谷) ・第4回グローバルテントの開催(MIFA フェスタ)	ログハウス	15人
12月3日	第2回理事会 ・「理事・監事候補者選出委員会」のメンバー選出(4人) ・「立候補者の届出・推薦の届出」の提出方法に PDF または写真をメールに添付することも可とする ・会長・副会長の候補選任は総会時ではなく、事前に十分な時間を確保したうえで議論し選任する ・総会資料作成は、各専門委員長が事前チェックして総会資料(ドラフト)を完成させ、理事会では誤植の訂正はせず、内容について十分な検討、審議をする	ログハウス	18人
12月3日	第9回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・市役所から ①ログハウスの使用申請 ②コロナによる市内公共施設の使用制限緩和・	ログハウス	12人
1月7日	第10回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・第5回グローバルテントの開催(12月4日守谷駅前朝市) ・理事・監事候補選出委員会から報告(理事・監事の立候補・推薦書面の送付) ・独立法人国際交流基金(JF)主催のラオス短期派遣日本語パートナーズ(短期 NP)への派遣員推薦(4人)	ログハウス	15人
2月4日	第11回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・ラオス短期派遣員決定(4人)/派遣前研修(於ログハウス/2日間)/派遣期間3月1日(水)から12日(日)	ログハウス	16人
3月4日	第3回理事会 ・役員改選(任期:2023年度・2024年度の2年)について ・理事・監事候補選出委員会から報告・総会に提出する理事・監事候補者の決定 ・情報管理担当への対価の支払いについて ・情報管理担当は事務局に所属する・年額5万円とする	ログハウス	20人
3月4日	第12回運営委員会 ・各専門委員会から活動報告 ・市役所から ①(姉妹都市マインブルク)3年ぶりに青少年の海外派遣を復活させる ②マインブルク市から秋頃に市長一行の訪問の計画あり ③姉妹都市グリーリー市から守谷市訪問は中止	ログハウス	15人

## 総務委員会

月 日	活動内容	会場	人数
4月3日	第1回ウクライナ支援募金活動 守谷駅前広場	守谷駅前 他	25人
4月4日	第1回定例総務委員会 ウクライナ支援募金活動について、今後の方針など	オンライン	7人
5月1日	第2回ウクライナ支援募金活動 守谷駅前広場、ブランチパーク守谷	守谷駅前 他	15人
5月9日	第2回定例総務委員会 ウクライナ支援募金活動について MIFA 理事選出方式について	オンライン	5人
6月5日	第3回ウクライナ支援募金活動 守谷駅前広場	守谷駅前	9人
6月6日	第3回定例総務委員会 ウクライナ支援募金活動について 運営委員会の資料について	オンライン	5人
8月1日	第4回定例総務委員会 MIFA ホームページ マニュアル整備について、運営委員会資料のペーパーレス化	オンライン	7人
9月5日	第5回定例総務委員会 理事選定方式について議論 ウクライナ大使館訪問報告	オンライン	7人
10月3日	第6回定例総務委員会 理事選定方式について議論	オンライン	8人
11月7日	第7回定例総務委員会 12月理事会での議題を審議、総会資料作成のフォーマット統一など	オンライン	8人
12月5日	第8回定例総務委員会 12月理事会の振り返り 国際理解ワーキンググループ活動など	オンライン	7人
1月9日	第9回定例総務委員会 newsletter について	オンライン	8人
2月6日	第10回定例総務委員会 次年度総務委員会について、各委員会名簿の更新など	オンライン	8人
3月6日	第11回定例総務委員会	オンライン	7人

### 日本文化体験講座

4月11日	第1回日本文化体験講座(通算124回) 箏の練習	ログハウス	2人
4月25日	第2回日本文化体験講座(通算125回) 箏の練習	ログハウス	6人
5月9日	第3回日本文化体験講座(通算126回) 箏の練習	ログハウス	5人

5月23日	第4回日本文化体験講座(通算127回) 箏の練習	ログハウス	5人
6月13日	第5回日本文化体験講座(通算128回) 箏の練習	ログハウス	3人
6月27日	第6回日本文化体験講座(通算129回) 箏の練習	ログハウス	5人
7月4日	第7回日本文化体験講座(通算130回) 箏の練習	ログハウス	5人
7月11日	第8回日本文化体験講座(通算131回) 箏の練習	高野公民館	5人
7月18日	第9回日本文化体験講座(通算132回) 箏の練習	ログハウス	5人
9月12日	第10回日本文化体験講座(通算133回) 箏の練習	ログハウス	5人
9月26日	第11回日本文化体験講座(通算134回) 箏の練習	ログハウス	4人
10月10日	第12回日本文化体験講座(通算135回) 箏の練習	ログハウス	6人
10月24日	第13回日本文化体験講座(通算136回) 箏の練習	ログハウス	5人
11月14日	第14回日本文化体験講座(通算137回) 箏の練習	ログハウス	3人
11月15日	第15回日本文化体験講座(通算138回) 着物の着付け	郷州公民館	4人
12月12日	第16回日本文化体験講座(通算139回) 箏の練習	ログハウス	3人
1月9日	第17回日本文化体験講座(通算140回) 箏の練習	ログハウス	4人
1月23日	第18回日本文化体験講座(通算141回) 箏の練習	ログハウス	5人
2月13日	第19回日本文化体験講座(通算142回) 箏の練習	ログハウス	6人
2月27日	第20回日本文化体験講座(通算143回) 箏の練習	ログハウス	3人
3月13日	第21回日本文化体験講座(通算144回) 箏の練習	ログハウス	5人
3月14日	第22回日本文化体験講座(通算145回) 着物の着付け	市内	3人
3月27日	第23回日本文化体験講座(通算146回) 箏の練習	ログハウス	5人
3月28日	第24回日本文化体験講座(通算147回) 着物の着付け	市内	3人
3月29日	第25回日本文化体験講座(通算148回) 着物の着付け	市内	3人

## 姉妹都市交流委員会

月 日	活動内容	会場	人数
6月18日	第1回定例委員会(マインブルク市学生訪問団/日本文化体験対応) *実施延期	ログハウス	7人
8月20日	第2回定例委員会(マインブルク市学生訪問団/日本文化体験対応)	ログハウス	7人
9月20日	マインブルク市学生訪問団/日本文化体験	ログハウス	30人
10月1日	筑波大学留学生勧誘(ウクライナ大使講演会 英文チラシ作成[姉妹都市委]/学生課掲示)	中央公民館	—
10月23日	筑波大学留学生勧誘(MIFA Festa 2022 英文チラシ作成[姉妹都市委]/学生課掲示)	ブランチ守谷	—
1月26日 ~2月2日	第3回定例委員会(2022年度事業報告、2023年度事業計画)	書面審議	10人
2月6日	筑波大学/留学生支援団体等との意見交換会(行事予定・実績表提出)	筑波大学	資料提出

## 語学研修委員会

### ① 英語でおしゃべり

月 日	活動内容	会場	人数
4月2日	第7回オンライン 英語でおしゃべり 定員30人 ショートスピーチ:“Taiwan” Mr. Chuang チャットピック:Social Media 終了後ミーティング	オンライン ZOOM	27人(外国人3人含む)
5月14日	第105回 英語でおしゃべり 定員30人 シートスピーチ:“Introduction to Thailand” Mr. Sirawut Chitjai 終了後ミーティング	ログハウス	28人(外国人2人含む)
6月4日	第106回 英語でおしゃべり 定員30人 ショートスピーチ:“Magic Club” 鷲野谷 由嗣 氏 チャットピック:“Show & Tell” 終了後ミーティング	ログハウス	33人(外国人1人含む)
7月2日	第107回 英語でおしゃべり 定員30人 ショートスピーチ:“Brazil & Airplane” Mr. Santos Eduardo チャットピック:“Show&Tell” 終了後ミーティング	ログハウス	32人(外国人1人含む)
8月6日	英語でおしゃべり(コロナ感染拡大のため中止)		
9月3日	第8回オンライン 英語でおしゃべり 定員30人 ショートスピーチ:“Australia” Ms. Dangerfield Emma Rose チャットピック:“Show & Tell” 終了後ミーティング	オンライン ZOOM	25人(外国人3人含む)

10月1日	第9回オンライン 英語でおしゃべり 定員30人 ショートスピーチ: “Taiwan” Mr. Chuang チャットピック: “Autumn” 終了後ミーティング	ログハウス	26人(外国人5人含む)
11月5日	第108回 英語でおしゃべり定員30人 ショートスピーチ“Enrich your life” 三宅 正伸 氏 チャットピック: “Unique episode in your travel” 終了後ミーティング	ログハウス	30人(外国人3人含む)
12月3日	第109回 英語でおしゃべり定員30人 ショートスピーチ: “Interesting things about Hungary” Ms. Seman Petra チャットピック: “My three big news in this year” 終了後ミーティング	ログハウス	24人(外国人3人含む)
1月7日	第110回 英語でおしゃべり 定員30人 フリートーク 終了後ミーティング	ログハウス	24人(外国人2人含む)
2月4日	第111回 英語でおしゃべり 定員30人 ショートスピーチ: “節分” 佐藤 直哉 氏 チャットピック: “Carnival” 終了後ミーティング	ログハウス	32人(外国人3人含む)
3月4日	第112回 英語でおしゃべり 定員30人 チャットピック: “Spring” 終了後ミーティング	ログハウス	36人(外国人4人含む)

英語でおしゃべり 4月～3月参加者 累計317人

②中国語講座

概要	講師:曹璨氏 日時: ・2017年1月より毎週金曜日 19時～21時で開始、 ・2018年1月より毎週日曜日 10時～12時に変更 ・2020年6月より日曜日(月2回)10時～11時半に変更 内容: ・使用テキスト: 中国語会話301(終了) 成功の路 中級(現在使用中) ・6回(3カ月)で1期とする。 ・会話、中国文化も含む幅広い講座	ログハウス	
4月24日 ～7月10日	第17期登録者 9人(講師含む) 全6回実施	ログハウス	延べ 50人
7月24日 ～10月2日	第18期登録者 10人(講師含む) 全6回実施	ログハウス	延べ 54人
10月30日 ～1月15日	第19期登録者 10人(講師含む) 全6回実施	ログハウス	延べ 57人
1月29日 ～4月9日	第20期登録者 10人(講師含む) 全6回実施	ログハウス	延べ 57人

中国語講座 4月～3月参加者 累計218人



③ドイツ語に親しむ会

概要	発足:2015年9月24日 加入:2018年11月より語学研修委員会 日時:2019年1月より原則毎月第4水曜日 午後2時30分~4時30分 ※8月休会、12月第3水曜日(年間11回) 内容:当番の発表者が教材を提供 国際交流員派遣要請(助言)	ログハウス	
4月27日	第31回 発表者 2人 独訳	ログハウス	6人
5月25日	第32回 発表者 1人 ドイツ語通信文解釈	ログハウス	6人
6月23日	第33回 発表者 2人 ドイツ語通信文解釈	ログハウス	5人
7月20日	第34回 発表者 2人 独訳	ログハウス	7人
9月28日	第35回 発表者 2人 独訳	ログハウス	6人
10月26日	第36回 発表者 1人 独訳	ログハウス	10人
11月16日	第37回 発表者 1人 会話	ログハウス	9人
12月21日	第38回 発表者 2人 オペラ歌詞和訳 独訳	ログハウス	9人
1月25日	第39回 発表者 1人 ドイツ生活の思い出報告	ログハウス	9人
2月22日	第40回 発表者 3人 独訳	ログハウス	7人
3月22日	第41回 発表者 1人 独訳	ログハウス	8人

ドイツ語に親しむ会 4月~3月参加者 累計 82人

## 広報委員会

月 日	活動内容	会場	人数
4月1日	Newsletter 69 全戸配布の完了確認	市役所	1人
4月3日	ウクライナ募金活動⇒フェイスブック投稿		2人
4月6日	Newsletter 69 ⇒フェイスブック投稿		1人
5月1日	第3回グローバルテントを守谷駅前朝市にて開催	守谷駅前広場	5人
5月1日	ウクライナ募金活動/第3回グローバルテント⇒フェイスブック投稿		2人
5月8日	MIFAパンフレットの修正(連絡先など)と補充(カラーコピー版作成)		1人
5月8日	中国語講座 取材⇒フェイスブック投稿	ログハウス	1人
5月14日	チャットサロン 取材⇒フェイスブック投稿	ログハウス	1人
6月1日	MIFAパンフレット印刷版の発注(200部)		1人
6月4日	広報委員会(MIFAパンフレット改定の打ち合わせ)	守谷駅前広場	5人
6月5日	ウクライナ募金活動⇒フェイスブック投稿		2人
7月2日	MIFAパンフレット改定版の第一稿を運営委員会に提出	ログハウス	2人
7月10日	広報委員会の開催(Re:MIFAパンフレット改定版) ・9月駅前朝市に予定していたグローバルテント中止	ログハウス	5人
8月6日	MIFAパンフレットの第二稿を運営委員会に提出	ログハウス	3人
8月16日	MIFAパンフレット第二稿について各委員会の意見を集約		3人
9月16日	・MIFAパンフレット改定版の印刷(5000部) ・newsletter 70 原案の編集を開始		1人 4人
9月20日	マインブルク学生訪問団の日本文化体験⇒フェイスブック投稿		2人
9月21日	マインブルク学生訪問団の日本文化体験⇒フェイスブック投稿		1人
9月24日	ウクライナ大使講演会の案内⇒フェイスブック投稿		1人
10月1日	ウクライナ大使講演会⇒フェイスブック投稿	中央公民館	2人

10月7日	MIFA フェスタポスター⇒フェイスブック投稿		1人
10月16日	広報委員会(newsletter 70 作成の打ち合わせ)	高野公民館	4人
10月23日	第4回グローバルテントを MIFA フェスタにて開催	ブランチ守谷	1人
10月24日	MIFAフェスタ⇒フェイスブック投稿		2人
11月7日	ウクライナ大使講演会追加分⇒フェイスブック投稿		1人
11月13日	Newsletter 70 について作成業者と打ち合わせ	ブランチ守谷	4人
12月4日	第5回グローバルテントを守谷駅前朝市にて開催 *国旗折り鶴ガチャを実施し約300人対象に協会の活動をPR	守谷駅前広場	3人
12月12日	第5回グローバルテント⇒フェイスブック投稿		1人
1月7日	運営委員会に newsletter 70第一稿を提出	ログハウス	2人
1月28日	ラオス派遣研修⇒フェイスブック投稿		1人
2月4日	運営委員会に newsletter 70第二稿を提出	ログハウス	3人
2月14日	newsletter 70 印刷修正・発注		2人
3月4日	運営委員会に newsletter 70最終稿PDF提出	ログハウス	2人
3月23日	newsletter 70 全戸配布の完了確認	市役所	1人

## 世界を知ろう委員会

月日	活 動 内 容	会 場	人 数
4月16日	第1回定例委員会 ・天野委員長の退任後の新年度役員について検討 新委員長に川名敏子が就任し、任期の残留期間を務める事となった。	ログハウス	5人
6月18日	第2回定例委員会 ・MIFA コンサートについて検討	ログハウス	6人
7月16日	第3回定例委員会 ・ウクライナ大使講演会迄のスケジュールと役割分担確認 会員への案内状と広報もりやの原稿について検討	ログハウス	6人
8月20日	第4回定例委員会 ・会員への案内状確定・印刷（9/3発送予定） ・筑波大学ウクライナ留学生・常総市に避難民の方への通知等検討	ログハウス	5人
9月3日	MIFA 会員宛大使講演会案内状を発送 4日からメールと Fax 受付開始 大使講演会のスケジュール確認と各委員会の皆さんに協力依頼	ログハウス	5人
9月10日	広報もりや配布日・一般受付開始 ・10日からメールと Fax 受付 ・コロナ禍の為、定員 327 席の 1/2・150 人とするが、後日 320 席に変更		
9月17日	第5回定例委員会 ・大使講演会の式次第・当日のタイムスケジュール ・ステージの縦書き演題・横書きタイトル決め ・長龍寺の駐車場依頼	ログハウス	6人
10月1日	第27回 MIFA ウクライナ大使講演会開催 筑波大学ウクライナ人留学生や避難女性も参加	中央公民館	195人
11月19日	第6回定例委員会 ・当委員会に新メンバー入会(庄子・岩井) ・MIFA コンサートについて検討 ・ニュースレター原稿の検討	ログハウス	7人
1月21日	第7回定例委員会 ・新年度の役員決め 新副委員長に庄子氏を推薦 ・新年度の事業計画と予算案の検討	ログハウス	6人

## 日本語講座委員会

月日	活動内容	会場	人数
4月1日 ～4月30日	日本語補習授業 学習者:MAさん 石下紫峰高校編入試験合格	ログハウス	2人
4月26日	緊急連続講座:難民らのこころのありようを理解する 講師:大正大学 鷓川晃氏	オンライン	1人
5月12日	定例会議 講習会方針協議 IIAへの講師派遣申請	オンライン	8人
5月26日	定例会議 講師講習会 スキルアップ講座 日程決定 10月9・16・30、11月6 4回 13:00～16:00 講師の学習会 水・金曜日担当講師 随時実施	オンライン	8人
5月27日	日本語講座見学者来訪 監理団体「協同組合 SORa」 ベトナム人3人	ログハウス	5人
6月 6日	ウクライナ避難民の方への支援準備 ウクライナの教育制度	オンライン	1人
6月24日	ウクライナ避難民の方への支援準備 「避難民」と「難民」の法的な違いと日本の事情	オンライン	1人
5月～7月	第82回外国人のためのボランティア日本語講座 コロナ感染防止の防疫対策を実施 水曜夜間講座 オンライン講座(コロナ禍の為) ・期間:5月12日～7月14日(水曜日/全10回) ・時間:19時15分～20時30分(短縮実施) ・参加者 学習者 4人 講師4人 水曜夜間講座 対面講座 ・期間:5月12日～7月14日(水曜日/全10回) ・時間:19時30分～21時00分 ・参加者 学習者 7人 講師8人 金曜昼間講座 対面講座 ・期間:5月14日～7月16日(金曜日/全10回) ・時間:13時00分～14時30分 ・参加者 学習者 8人 講師9人	オンライン ログハウス ログハウス	延人数 講師 31人 学習者 26人 延人数 講師 67人 学習者 37人 延人数 講師 69人 学習者 34人
7月15日	国際交流・ネットワーク会議 IIA主催 全体会及び分科会:「地域日本語教育分科会」	水戸市	1人
7月22日	定例会議 第82回日本語講座資料分析と課題研究 水曜夜間講座(対面及びオンライン)	オンライン	5人
7月24日	定例会議 第82回日本語講座資料分析と課題研究 金曜昼間講座(対面講座)	ログハウス	8人
8月20日 ～9月17日	つくばみらい市主催講師レベルアップ講座参加 全5回実施(修了証発行) 8月20日・27日・9月3日・10日・17日	伊奈公民館	2人
8月18日	文化庁主催 地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修会 参加 全10講座受講	オンライン	1人
8月31日	第1回オンライン交流会 参加 主催:INVN 茨城日本語ボランティアネットワーク	オンライン	2人

月日	活動内容	会場	人数
9月～11月	第83回日本語講座 水曜夜間講座 オンライン講座(コロナ禍の為) ・期間:9月7日～11月9日(水曜日/全10回) ・時間:19時15分～20時30分(短縮実施) ・参加者 学習者 3人 講師3人 水曜夜間講座 対面講座 ・期間:9月7日～11月9日(水曜日/全10回) ・時間:19時30分～21時00分 ・参加者 学習者 11人 講師6人 金曜昼間講座(対面授業) ※当初予定をコロナウイルス感染対策上の理由で順延 ・期間:9月9日～11月11日(金曜日/全10回) ・時間:13時00分～14時30分 ・参加者 学習者 10人 講師10人	オンライン  ログハウス  ログハウス	延人数 講師 28人 学習者 26人 延人数 講師 46人 学習者 46人 延人数 講師 86人 学習者 42人
9月10日	我孫子市国際交流協会主催 講習会参加 日本語ボランティアレベルアップ講座 講師: 齋藤 茂氏 西武文理大学・麗澤大学 講師	オンライン	2人
9月24日	令和4年度 地域日本語教育関係者会議 参加 IIA 主催 茨城県地域日本語教育の体制づくり事業	牛久市	1人
10月9日	スキルアップ講習会実施 1回 地域日本語ボランティア講師レベルアップ講習 講師:菊地悠次 氏	ログハウス	11人
10月16日	スキルアップ講習会実施 2回 地域日本語ボランティア講師レベルアップ講習 講師:菊地悠次 氏	ログハウス	10人
10月28日	第2回オンライン交流会 参加 主催:INVN 茨城日本語ボランティアネットワーク	オンライン	2人
10月30日	スキルアップ講習会実施 3回 地域日本語ボランティア講師レベルアップ講習 講師:菊地悠次 氏	ログハウス	10人
11月6日	スキルアップ講習会実施 4回 地域日本語ボランティア講師レベルアップ講習 講師:菊地悠次 氏	ログハウス	9人
11月24日	日本語講座委員会 オンライン会議 議題:オンライン日本語講座7回の反省と今後の対応 ・水曜夜間講座 コロナ禍・当面オンライン実施 ・金曜昼間講座 12/3(金)最終日。 後半は座談会・・・交流・座談・内容記録・ ・補講希望者への対応	オンライン	7人
11月25日	講習会案内 茨城県国際交流協会(I.I.A)主催講習会 ・ボランティア教室での実際の活動内容	水戸市	1人
11月26日 ～ 12月17日	取手市国交流協会主催講習会参加 日本語理解にコミットする教え方と教材の工夫 講師:井上里鶴氏 (筑波大学博士後期課程修了博士(国際日本研究) 11/26・12/3・12/17 全3回	取手市 福社会館	1人

月日	活動内容	会場	人数
12月24日	講師の募集 広報もりや掲載 ガイダンス実施:委員長・副委員長 面談対応	ログハウス	3人
1月18日	令和4年度茨城県「地域日本語教育の体制づくり事業 (文化庁採択) 主催:茨城県 (公財)茨城県国際交流協会		
1月10日	第3回オンライン交流会 参加 主催:INVN 茨城ボランティアネットワーク会議 飯野令子氏	オンライン	1人
1月18日 ～ 2月5日	茨城県及び IIA 主催講習会 参加 「新しい茨城 私たちの地域日本語支援を考える会」 第1回 1/22 外国人も地域の仲間なのだ 第2回 1/22 コミュニケーションの手段は日本語だけ? 第3回 1/29 気持ちを伝えたい! わかりたい! 第4回 1/29 楽しくなくちゃ、動けない 第5回 2/5 地域でいっしょに暮らそう	オンライン	1人
2月5日	新しい茨城 私たちの地域日本語支援を考える会 IIA 主催 私たちの地域日本語支援を考える会 OB 会	オンライン	1人
2月18日	第32回外国人による日本語スピーチコンテスト 主催:(公社)茨城県国際交流協会 審査員 1名 (日本語講座委員会委員長)	水戸市	1人
2月20日	茨城県地域日本語教育の体制づくり推進事業年度事業 報告会(令和4年度:文化庁採択) 参加	オンライン	1人
3月5日	取手市国際交流協会主催 レベルアップ講座参加 講師:金 早苗 氏 公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)講師 『かんじだいすきシリーズ』著者 『かんじだいすきシリーズ』を活用した支援の方法	オンライン	4人
1月13日 ～ 3月17日	第84回日本語講座 水曜夜間講座 オンライン講座(コロナ禍の為) ・期間:1月11日～3月15日(水曜日/全10回) ・時間:19時15分～20時30分(短縮実施) ・参加者 学習者 3人 講師 4人 水曜夜間講座 対面講座 ・期間:1月11日～3月15日(水曜日/全10回) ・時間:19時30分～21時00分 ・参加者 学習者 8人 講師 5人 金曜昼間講座(対面授業) ※当初予定をコロナウイルス感染対策上の理由で順延 ・期間:1月13日～3月17日(金曜日/全10回) ・時間:13時00分～14時30分 ・参加者 学習者 8人 講師 7人	オンライン  ログハウス  ログハウス	延人数 講師 31人 学習者 26人 延人数 講師 42人 学習者 33人 延人数 講師 63人 学習者 44人
3月24日	日本語講座委員会定例会 年度の活動の締めくくり	ログハウス	6人
3月29日	第4回オンライン交流会 参加 主催:INVN 茨城ボランティアネットワーク会議 飯野令子氏	オンライン	1人

## 第23回 MIFA フェスタ2022「われら地球人」 実行委員会

日時:10月23日(日)10時~16時

会場:ブランチパーク守谷の芝生広場

主催:守谷市国際交流協会(MIFA)

共催:守谷市役所

後援:独立行政法人国際協力機構(JICA)筑波国際センター

### 参加国

国名	人数	国名	人数	国名	人数
JICA 研修員 16カ国 48人					
アルメニア共和国	1	エジプト・アラブ共和国	3	マレーシア	17
カメルーン共和国	3	東ティモール民主共和国	1	ネパール	2
ギニア共和国	1	エチオピア連邦共和国	1	キルギス共和国	1
キルギス共和国	1	スリランカ民主社会主義共和国	3	フィリピン共和国	5
ブータン王国	3	パキスタン・イスラム共和国	2		
タイ王国	2	インドネシア共和国	2		

### 協力団体

D-Life ダンススクール	守谷市文化協会茶道部会
流通経済大学付属柏高校チアリーディング	ボーイスカウト守谷第一団
ウクライナ人歌手 イリーナ氏	箏さくらの会
野木崎お囃子連	ボランティアスタッフ(外国人4人を含む)
ジョイ舞連	
知心五行派刀流 大野道場	

### 活動日程

月 日	活動内容	会場	人数
5月22日	今年の開催について検討会議	市内	6人
6月4日	運営委員会で10月23日(日)の開催を決定 会場はブランチパーク守谷を提案し承認される	ログハウス	16人
6月19日	会員宛にスタッフ募集の案内状を作成(発送は24日)	ログハウス	3人
6月26日	広報もりや 8月10日号に「スタッフ募集」の案内を 掲載依頼		1人



7月2日	第1回実行委員会 1、参加を見込める外国人 2、模擬店出店やMIFAブースについて 3、パフォーマンスについて	ログハウス	16人
7月3日	JICA 筑波へ開催日の連絡		1人
7月18日	ポスター案の作成		1人
8月6日	第2回実行委員会 1、外国人への参加要請の役割分担 2、模擬店出展者の確認状況 3、MIFAブース、体験コーナーについて 4、タイムスケジュール 5、パフォーマンスについて 6、一般市民、会員への案内方法について 7、駐車場の確保 8、備品の借用について	ログハウス	19人
8月19日	JICA 筑波との打ち合わせ（JICA4人、MIFA3人） 1、当日のスケジュールについて 2、JICAのバス使用について 3、JICA研修員の出し物や民族衣装着用の依頼	JICA 筑波	7人
8月25日	ランチパーク守谷の現場確認	市内	2人
8月26日	広報もりや10月10日号のお知らせ掲載依頼		1人
9月3日	第3回実行委員会 1、各コーナーの進捗状況確認 2、必要な備品数の確認	ログハウス	24人
9月8日	市役所へ「共催」の申請書提出	市役所	1人
9月9日	お茶の先生と現場確認と打合せ	市内	3人
9月13日	プログラム案の作成		1人
9月14日	プログラムを英語、中国語、ベトナム語に翻訳し、SNSに載せる		3人
9月16日	会員宛の案内状作成、封筒詰(発送は20日)	ログハウス	4人
9月21日	MIFAのインスタグラム新規開設		2人
9月28日	公共施設、小中学校にポスター掲示依頼		1人

9月30日	ゲスト出演のウクライナ歌手イリーナさんとの打ち合わせ	市内	3人
10月8日	第4回実行委員会 1、タイムスケジュールなどの最終確認 2、大量の備品運搬の参加者確認	ログハウス	26人
10月10日	大和リースとの借用備品確認、打ち合わせ	市内	3人
10月12日	MIFA フェスタ当日の傷害保険に加入		1人
10月17日	大和リースと音響関係の打合せ	市内	1人
10月22日	ログハウス倉庫内の備品ブランチパーク守谷へ搬送	ログハウス	1人
10月23日	第23回 MIFA フェスタ開催 会場はブランチパーク守谷の芝生広場・サークル広場 ・JICA52人、協力団体124人、実行委員30人 模擬店関係者23人、当日スタッフ48人 ・一般参加者1150人位(ブランチ守谷の発表は2000人)	市内	主催者側 225人
10月28日	JICA 筑波宛に協力のお礼状と写真のUSBを送付	市内	1人
11月5日	運営委員会へ事業報告提出		1人

事務局

月 日	活動内容	会場	人数
4月1日	令和4年度守谷市補助金等交付決定通知書の受領	市役所	1人
4月1日	市職員のMIFA会議出席要請書面の提出 (4月1日付;市役所宛て)	市役所	1人
4月11日	ウクライナ大使館に支援募金振込	常陽銀行	1人
4月15日	令和4年度守谷市国際交流協会補助金の請求書作成・ 提出(市役所)	市役所	1人
4月15日	第1回理事会開催の案内を理事宛て発送	守谷中央郵便局	1人
4月28日	補助金200万円受領確認	常陽銀行	1人
5月7日	第1回理事会の開催(総会書面決議の決定)	ログハウス	24人
5月12日	会計監査	市役所	5人
5月22日	正副会長、広報委員会:MIFAフェスタの打ち合わせ	ブランチ守谷	6人
5月23日	総会関連資料の印刷(書面議決書/総会資料)および封 入	市役所	6人
5月26日	令和3年度補助金実績報告書の提出	市役所	1人
5月31日	総会書面議決書(提出期限:6月15日)の送付	守谷中央郵便局	1人
5月31日	損害保険の更新(申込書・保険料支払い)	保険代理店/コン ビニエンスストア	1人
6月6日	コピー複合機の定期点検(株ムラテック販売)立合い	ログハウス	1人
6月15日	正副会長、事務局:総会書面議決書の打ち合わせ	小川事務所	4人
6月19日	総会(書面議決)の結果に係わる会議:総会報告書& MIFAフェスタ案内文(スタッフ募集)&法人会費請求書 の印刷/封入	ログハウス	4人
6月22日	専門委員会口座に振込み	常陽銀行	1人
6月23日	基金の繰入	常陽銀行	1人
6月24日	総会結果報告/年会費支払案内を会員宛に送付(法人会 員には請求書も同封)	守谷中央郵便局	1人

6月27日	ウクライナ大使館に支援募金振込	常陽銀行	1人
7月2日	各専門委員長に預金通帳の引渡し	ログハウス	1人
7月8日	2023年度(令和5年度)補助金申請書類提出	市役所	1人
9月29日	コピー複合機の定期点検(株ムラテック販売)立合い	ログハウス	1人
10月5日	コピー複合機のトナーカートリッジ交換 立合い	ログハウス	1人
11月2日	ウクライナ大使館に支援募金振込	常陽銀行	1人
11月11日	第2回理事会開催の案内を理事宛て発送	守谷中央郵便局	1人
12月3日	第2回理事会の開催(理事・監事候補者選出委員会のメンバー選出)	ログハウス	18人
1月7日	会費未納者宛に督促状、請求書の封筒詰(発送は11日)	ログハウス	4人
1月10日	独立行政法人国際交流基金(以下、JF)にラオス短期派遣候補者の推薦(提出締切り)		
1月16日	JF 主管のラオス短期派遣候補者(4人)の2次選考(面接)	ログハウス	12人
1月28日	ラオス短期派遣員(4人)の派遣前研修 1日目	ログハウス	14人
1月29日	ラオス短期派遣員(4人)の派遣前研修 2日目	ログハウス	14人
1月30日	コピー複合機の定期点検(株ムラテック販売)立合い	ログハウス	1人
2月7日	第3回理事会開催の案内を理事宛て発送	守谷中央郵便局	1人
3月4日	第3回理事会の開催(理事・監事選出)	ログハウス	20人
3月20日 ~ 25日	専門委員会より預金通帳等回収	ログハウス	1人

議案第2号		2022年度決算書					2023/3/31現在
(収入)							(単位：円)
科目	節	当初予算額	補正額	予算現額	収入済額	比較	備考
1. 会費 及び 補助金	1.会費	348,000	0	348,000	308,500	△ 39,500	年会費 一般220件/学生17件/賛助8件
	2.補助金	2,000,000	0	2,000,000	2,000,000	0	守谷市国際交流基金より
	3.基金の取崩	0	0	0	0	0	
	小計	2,348,000	0	2,348,000	2,308,500	△ 39,500	
2. 事業 収入	1.総務収入	77,000	0	77,000	0	△ 77,000	イヤーエンドパーティー等中止
	2.姉妹都市交流収入	60,000	0	60,000	0	△ 60,000	交流事業中止
	3.語学研修収入	112,000	0	112,000	210,000	98,000	中国語講座参加費
	4.広報収入	0	0	0	0	0	
	5.世界を知ろう収入	100,000	0	100,000	0	△ 100,000	大使講演会、MIFAコンサート中止
	6.日本語講座収入	15,000	0	15,000	0	△ 15,000	講座受講費（非会員の受講なし）
	小計	364,000	0	364,000	210,000	△ 154,000	
3. 繰入金	1.OA機器等 準備基金	430,000	0	430,000	430,000	0	OA機器等準備基金より繰入
	2.周年記念事業 等準備基金	150,000	0	150,000	150,000	0	周年記念事業等準備基金より繰入
	3.途上国 PJ基金	0	0	0	0	0	途上国PJ基金より繰入
	4.研修交流 ・支援基金	150,000	0	150,000	150,000	0	研修交流・支援基金より繰入
	小計	730,000	0	730,000	730,000	0	
4. 雑収入	1.預金利子	15	0	15	18	3	委員会及び事務局銀行預金利子
	2.その他	350	0	350	360	10	コピー代
	小計	365	0	365	378	13	
5. 繰越金	1.繰越金	577,635	0	577,635	577,635	0	前年度繰越金
合計		4,020,000	0	4,020,000	3,826,513	△ 193,487	
					収入済額	3,826,513	円
					支出済額	3,008,154	円
					差引残額	818,359	円
					市補助金戻し額	100,000	円
					差引残額	718,359	円
					(単位：円)		
基金名称		21年度残高	22年度繰出額	利子	22年度積立額	合計	
OA機器等準備基金		800,640	430,000	4	530,000	900,644	
周年記念事業等準備基金		1,803,469	150,000	14	350,000	2,003,483	
研修交流・支援基金		607,419	150,000	4	350,000	807,423	
※ ウクライナ支援募金453,835円をウクライナ大使館に寄付しました。							

2022年度決算書							2023/3/31現在
(支出)							(単位：円)
科目	節	当初予算額	補正流用額	予算現額	支出済額	比較	備考
1. 事業費	1.総務費	660,000		660,000	256,552	△ 403,448	MIFAフェスタ等
	2.姉妹都市交流費	440,000		440,000	18,638	△ 421,362	マインブルク市学生訪問団交流
	3.語学研修費	295,000		295,000	257,311	△ 37,689	中国語講座、英語講師交通費等
	4.広報費	428,100		428,100	393,895	△ 34,205	newsletter70発行 グローバルテント出店費等
	5.世界を知ろう費	498,000		498,000	70,997	△ 427,003	大使講演会
	6.日本語講座費	290,000		290,000	54,441	△ 235,559	教材費等
	小計	2,611,100	0	2,611,100	1,051,834	△ 1,559,266	
2. 旅費	1.旅費	80,000		80,000	15,624	△ 64,376	交通費
3. 役務費	1.事務局費	200,000		200,000	200,000	0	事務局費
	2.保険費	30,000		30,000	11,088	△ 18,912	保険料
	小計	230,000	0	230,000	211,088	△ 18,912	
4. 事務費	1.消耗品費	50,000		50,000	73,885	23,885	トナーカートリッジ・事務用品等
	2.印刷製本費	30,000		30,000	52,890	22,890	封筒・パンフレット印刷費等
	3.郵送料	168,900		168,900	101,475	△ 67,425	郵便発送料等
	4.手数料	10,000		10,000	3,940	△ 6,060	振込手数料等
	5.OA費	350,000		350,000	240,398	△ 109,602	ノートパソコン165,000 電話・FAX 75,398
	小計	608,900	0	608,900	472,588	△ 136,312	
5. 慶弔費	1.慶弔費	10,000		10,000	16,500	6,500	供花
6. 備品購入費	1.備品費	50,000		50,000	0	△ 50,000	
7. 繰出金	1.OA機器	200,000		200,000	530,000	330,000	OA機器等準備基金へ
	2.周年記念事業	100,000		100,000	350,000	250,000	周年記念事業等準備基金へ
	3.研修交流・支援基金	100,000		100,000	350,000	250,000	研修交流・支援基金へ
	小計	400,000	0	400,000	1,230,000	830,000	
8. 予備費	1.予備費	30,000		30,000	10,520	△ 19,480	国際交流基金ラオス短期派遣
合計		4,020,000	0	4,020,000	3,008,154	△ 1,011,846	
* 科目の流用を認める。							

## 監 査 意 見 書

2022 年度決算について、守谷市国際交流協会規約第 6 条  
第 6 項の規定により、決算書類と預金通帳・領収書類を照合  
したところ、相違なく正確であることを認めます。

2023 年 5 月 10 日

監事 宗 昭 宏



監事 藤 森 義 典



## 2023 年度事業計画

自 2023 年 4 月 1 日  
至 2024 年 3 月 31 日

守谷市国際交流協会の活動は、2020 年度から始まったコロナ禍により、2022 年度も制限せざるを得ない状況であった。今年度は、コロナと共存する社会を念頭に、対面方式やリモート方式による活動を積極的に進めていく。

### 1. 総会に係わること

### 2. 守谷市青少年海外派遣事業および国際交流事業などに係わること

### 3. 事務局

協会運営、各委員会との連絡調整、他団体との交流に関すること

- ① 年間計画の立案
- ② 会費の徴収、会員等名簿の管理、ボランティア登録名簿の管理
- ③ パソコン・電話・コピー機等備品の管理
- ④ 国内外の国際交流団体との交流の調整
- ⑤ 国際交流に関する情報収集
- ⑥ 会員増加への施策の検討・実施
- ⑦ 事務文書の作成：補助金の対応、公文書の作成等
- ⑧ 各専門委員会間の連絡調整
- ⑨ その他、協会全体の運営に関する事項：総会・理事会などの計画
- ⑩ 運営委員会のアジェンダ、議事録の作成
- ⑪ 「ホームページの管理」

### 4 専門委員会

#### (1) 総務委員会

他の委員会に属さない事業の企画、運営に関すること

- ① 実行委員会形式で行う事業の対応
- ② 「ようこそ守谷へ 2023」、「商工祭り」などの行事への参加、協力
- ③ 国際理解ワーキンググループ
- ④ 日本文化体験講座(お琴の練習・着物の着付け等)
- ⑤ 事務局との連絡調整

#### (2) 姉妹都市交流委員会

##### ① 姉妹都市等との交流促進

姉妹都市であるドイツ連邦共和国バイエルン州マインブルク市及びアメリカ合衆国コロラド州グリーリー市をはじめとする世界各国との交流を促進する。

##### ② ホームステイ事業実施

筑波大学留学生などにホームステイの機会を提供し、日本の文化・生活を体験してもらい、国際理解を促進する(「One-Day Home Visit」など)

##### ③ 市内及び近隣在住の外国人との交流(ハイキングなど)を行う。

##### ④ 会員相互の交流促進を図る(「バーベキュー会」「青少年主体イベント」など実施)

#### (3) 語学研修委員会

##### ① 英語でおしゃべり “MIFA Chat Salon”の開催

毎月1回 (第 113 回～第 124 回)

8月・1月は、語研は会議設営のみ

6月・12月(予定)は、ランチ交流会



② 中国語講座

中国語だけでなく、中国の歴史・文化も学ぶ

- ・2017年1月より毎週金曜日 7時～9時で開始
- ・2018年1月より毎週日曜日 10時～12時に変更
- ・2020年6月より日曜日(月2回)10時～11時半に変更

原則毎月2回(日曜日午前)の開催。6回で1期とする。

本年度は第21期～第24期の開催予定

MIFA会員であるプロの中国人講師による講座

使用テキストは「成功之路1」北京語言大学出版

③ ドイツ語に親しむ会

毎月1回 全11回(8月休会) 第4水曜日14時半～16時半

毎回当番がドイツ語資料を発表し、会員が互いに検討する。

国際交流員の派遣を申請

(4) 広報委員会

各専門委員会等の情報を、SNS、ニュースレター(刊行物)、催事などにより会員および市民に提供し、活動の活性化と新規会員の加入促進を図る。

- ① 各専門委員会、行事の取材
- ② フェイスブックの投稿
- ③ グローカルテントの開催
- ④ newsletter 71の編集

(5) 世界を知ろう委員会

守谷市国際交流協会(MIFA)の活動拠点である守谷市国際交流研修センター(ログハウス)を活用し、市民・近隣および外国の人を対象として、世界の文化や歴史などを学び、友好を深める活動を行う。コロナ禍の状況改善を前提に、積極的に活動する。

- ①第28回「MIFA世界を知るシリーズ」大使講演会
- ②第21回 MIFAコンサート

(6) 日本語講座委員会

日本語を母語としない「生活者としての外国人」および技能実習生等、希望する外国人を対象に、日常生活・仕事に必要な日本語を習得する場として、日本語講座を運営する。また、異文化と日本文化への理解を深めることにより、相互の理解と親睦を図り、多文化共生の実を上げる。

① 外国人のためのボランティア日本語講座

- ・水曜夜間講座(対面講座とオンライン講座)
- ・金曜昼間講座(対面講座)
- ・水曜夜間(対面とオンライン)・金曜昼間講座(各10回)を年間各3講座実施する。
- ・第85回:5月～7月
- ・第86回:9月～11月
- ・第87回:1月～3月

② 定例委員会開催

③ 日本語講座委員会の委員は MIFA 会員で構成しており、各回の日本語講座の終了後に実施する。

7月・11月・3月

注) 3月は年度の締めと新年度の計画を審議する。

④ 講師研修会

⑤ 外部講師による研修会(年1～2回)を実施し、講師のスキルアップを図る。

⑥ 学習者と講師との親睦会

学習者の日本語スキルの研鑽と講師・地域社会との親睦を目的として、交流会(年1回)を実施する。

⑦ 茨城県国際交流協会を含め、他地域のボランティア日本語講座・教室との交流、講師研修会の相互参加等により、情報交換および連携を図る。

- ⑧ 文化庁からの情報を、必要に応じて活用して、新たな講座運営の参考とする。
- ⑨ 地域日本語教育の推進のための関係機関との調整・連携を図る。

## 5 実行委員会形式で行う事業

- (1) MIFA フェスタ2023「われら地球人」
- (2) イヤーエンドパーティー
- (3) 商工まつり
- (4) MOCO フェスタ2023
- (5) その他

## 2023年度予算書

(収入)					
(単位：円)					
科目	節	22年度予算	22年度決算	23年度予算	備考
1. 会費 及び 補助金	1.会費	348,000	308,500	348,000	年会費 (一般258件、学生20件、賛助8件)
	2.補助金	2,000,000	2,000,000	2,000,000	守谷市国際交流基金
	3.基金の取崩	0	0	0	
	小計	2,348,000	2,308,500	2,348,000	
2. 事業収入	1.総務収入	77,000	0	77,000	イヤーエンドパーティー参加費等
	2.姉妹都市交流収入	60,000	0	60,000	姉妹都市交流参加費、青年交流参加費等
	3.語学研修収入	112,000	210,000	256,000	英語でおしゃべり参加費、中国語講座参加費等
	4.広報収入	0	0	0	
	5.世界を知ろう収入	100,000	0	100,000	大使講演会、MIFAコンサート参加費等
	6.日本語講座収入	15,000	0	15,000	日本語講座受講費等
	小計	364,000	210,000	508,000	
3. 繰入金	1.OA機器等準備基金	430,000	430,000	150,000	OA機器等準備基金より繰入
	2.周年記念事業等準備基金	150,000	150,000	150,000	周年記念事業等準備基金より繰入
	3.研修交流・支援基金	150,000	150,000	150,000	研修交流・支援基金より繰入
	小計	730,000	730,000	450,000	
4. 雑収入	1.預金利子	15	18	21	銀行預金利子
	2.その他	350	360	620	コピー代等
	小計	365	378	641	
5. 繰越金	1.繰越金	577,635	577,635	718,359	前年度繰越金
合計		4,020,000	3,826,513	4,025,000	

## 2023年度予算書

(支出)		(単位：円)			
科目	節	22年度予算	22年度決算	23年度予算	備考
1. 事業費	1.総務費	595,000	256,552	595,000	MIFAフェスタ、イヤーエンドパーティー等
	2.姉妹都市交流費	440,000	18,638	400,000	姉妹都市交流、ホームステイ、青年交流等
	3.語学研修費	295,000	257,311	439,000	英語でおしゃべり、中国語講座
	4.広報費	428,100	393,895	478,000	newsletter71発行、写真現像費等
	5.世界を知ろう費	498,000	70,997	498,000	大使講演会、MIFAコンサート等
	6.日本語講座費	290,000	54,441	290,000	運営費、教材費、外部講師謝礼等
	小計	2,546,100	1,051,834	2,700,000	
2. 旅費	1.旅費	80,000	15,624	25,000	交通費
3. 役務費	1.事務局費	200,000	200,000	250,000	
	2.保険費	30,000	11,088	20,000	
	小計	230,000	211,088	270,000	
4. 事務費	1.消耗品費	50,000	73,885	50,000	事務用品等
	2.印刷製本費	30,000	52,890	30,000	封筒、パンフレット等
	3.郵送料	168,900	101,475	150,000	郵便発送料等
	4.手数料	10,000	3,940	10,000	振込手数料等
	5.OA費	350,000	240,398	250,000	インターネット接続料、電話・FAX等
	小計	608,900	472,588	490,000	
5. 慶弔費	1.慶弔費	10,000	16,500	10,000	
6. 備品購入費	1.備品費	50,000	0	50,000	
7. 総会費	1.総会費	65,000	0	50,000	総会
8. 繰出金	1.OA機器等準備基金	200,000	530,000	150,000	OA機器等準備基金へ
	2.周年記念事業等基金	100,000	350,000	150,000	周年記念事業等準備基金へ
	3.研修交流・支援基金	100,000	350,000	150,000	研修交流・支援基金へ
	小計	400,000	1,230,000	450,000	
9. 予備費	1.予備費	30,000	10,520	30,000	
合計		4,020,000	3,008,154	4,025,000	
*科目の流用を認める。					

## 議案第6号

### 守谷市国際交流協会規約 第5条第4項改正案

規約上、役員(監事を除く)及び各専門委員会の委員長が理事会を構成していますが、慣例により守谷市文化協会会長様, アサヒビール茨城工場長様, 茨城県立守谷高等学校校長様もまた理事としての職責を担い, 協会の目的の達成に尽力していただいております。そこで慣例上の立場を規約上明確に記載することが望ましいと考え, 下記のとおり規約の改正を提案します。

<現行>

第5条

4 役員(監事を除く)及び各専門委員会の委員長は, 理事会を構成する。

<改正案>

第5条

4 役員(監事を除く), 各専門委員会の委員長並びに協会の事業, 目的及び経理・事務のため会長が委嘱した者は, 理事会を構成する。

## 役員改選について

### 理事（五十音順）

浅川 恭子  
伊東 明彦  
猪瀬 雅俊  
大平 妙  
小川 一成（広報委員会委員長）  
尾崎 和恵  
川名 敏子（世界を知ろう委員会委員長）  
川村 玲子  
鷺野谷 由嗣  
櫻井 由美（姉妹都市交流委員会委員長）  
鈴木 亮子  
剣 安雄  
安原 浩（総務委員会委員長）  
楊 淑勉  
吉田 篤子

### 理事会を構成する委員

今泉 暢智（アサヒビール茨城工場長）  
小松 洋一（守谷市文化協会会長）  
櫻井 隆之（守谷高等学校校長）  
宮本 敏弥（日本語講座委員会委員長）  
佐藤 直哉（語学研修委員会委員長）

### 監事

宗 昭宏  
藤森 義典

### 事務局

（事務局長）  
剣 安雄（議事録・名簿担当）  
浅川 恭子（会計担当）  
伊東 明彦（情報管理担当）

- 報告第1号 日本語パートナーズラオス短期派遣について  
派遣先: ビエンチャン  
期間: 2023年3月1日(水)~12日(日)
- 報告第2号 守谷市青少年海外派遣事業について  
派遣先: マインブルク市  
期間: 7月26日(水)~8月2日(水)  
人数: 10人程度
- 報告第3号 姉妹都市訪問団来市について  
グリーリー市学生の来市は中止  
マインブルク市長訪問団10人程度: 10月29日(日)~11月3日(金)予定

## 資料1

### 2023年度 専門委員会 正・副委員長名簿

#### 総務委員会

委員長 安原 浩  
副委員長 櫻井 由美  
副委員長 宮本 敏弥

#### 姉妹都市交流委員会

委員長 櫻井 由美  
副委員長 鈴木 亮子  
副委員長 猪瀬 雅俊

#### 語学研修委員会

委員長 佐藤 直哉  
副委員長 川村 玲子  
副委員長 剣 安雄  
副委員長 萩原 秀高

#### 広報委員会

委員長 小川 一成  
副委員長 伊東 明彦

#### 世界を知ろう委員会

委員長 川名 敏子  
副委員長 庄子 和昌  
副委員長 吉田 篤子

#### 日本語講座委員会

委員長 宮本 敏弥  
副委員長 隈 修子  
副委員長 中 憲治

## 資料2

### 守谷市国際交流協会規約(改正版)

(名称)

**第1条** 本会は、守谷市国際交流協会(以下「協会」という)と称する。

(目的)

**第2条** 協会は、市民を主体とした幅広い分野における国際交流を推進し、市民の文化の向上に資するとともに、国際親善に寄与することを目的とする。

(事業)

**第3条** 協会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 国際交流に関する諸事業の企画・立案及び実施
- (2) 国際交流に関する趣旨の普及
- (3) 国際交流に関する情報、資料の収集及び普及
- (4) その他国際交流の推進のために必要な事業

(会員)

**第4条** 協会は、第2条の目的に賛同する個人会員及び賛助会員をもって組織する。

2 会員となる者は、入会申込書を会長に提出しなければならない。

(役員)

**第5条** 協会に次の役員をおく。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 3人以内
- (3) 理事 30人以内
- (4) 事務局長 1人
- (5) 会計 2人以内
- (6) 監事 2人

2 会長及び副会長は、理事の互選とする。

3 理事及び監事は、会員の中から理事会の推薦を経て総会で承認し、事務局長及び会計は事務局の中から会長が委嘱する。

4 役員(監事を除く)及び各専門委員会の委員長は、理事会を構成する。

5 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

6 役員が欠けた場合は理事会で補充できるものとし、その後任者の任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

**第6条** 会長は、協会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代理する。

3 理事は、理事会を構成し、会務を処理する。

4 事務局長は、事務局を総括する。

5 会計は、協会の経理を処理する。

6 監事は、協会の経理を監査する。

(名誉会長及び顧問)

**第7条** 協会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

2 名誉会長及び顧問は、会議に出席して意見を述べることができる。

3 名誉会長及び顧問は、理事会の承認を得て、会長が委嘱する。

(事務局)

**第8条** 事務局は、会員の中から、会長が委嘱する。

(会議)

**第9条** 会議は、総個人会員及び総賛助会員で組織する総会と、役員(監事を除く)及び各専門委員会の委員長が構成する理事会とし、会長がこれを招集し、総会の議長はその都度、会員の中から推薦により選任することとし、理事会の議長は、会長が務める。

(総会)

**第10条** 総会は、年1回会長が招集する。ただし、必要に応じて臨時総会を開くことができる。

2 総会は、次の事項を審議する。



- (1) 規約の改廃
  - (2) 年間事業計画
  - (3) 予算及び決算
  - (4) 理事(専門委員長・事務局長・会計を除く)及び監事の選任
  - (5) その他必要な事項
- 3 総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。  
(理事会)

**第11条** 理事会は、会長が随時招集する。

- 2 理事会で取扱う事項は、次のとおりとする。
- (1) 総会に提出する議案の審議
  - (2) その他必要な事項
- 3 理事会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。  
(運営委員会)

**第12条** 理事会は協会の事業活動を円滑に推進するために、理事会のもとに運営委員会を設けることができる。

- 2 運営委員会は、会長、副会長及び専門委員会の正副委員長をもって構成する。
- 3 運営委員会で決定する事項は、次のとおりとする。

- (1) 予算及び事業計画にもとづく協会の具体的な事業の執行に関すること。
- (2) 各専門委員会間の活動の調整に関すること。
- (3) その他、理事会に付議する必要のない事項。

(専門委員会)

**第13条** 理事会は、協会の事業を推進するために、専門委員会を設けることができる。

- 2 専門委員会に委員長1名及び副委員長3名以内をおき、任期は原則として2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 専門委員会の正副委員長が欠けた場合はその専門委員会で補充できるものとし、その後任者の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 専門委員会は、協会の事業を具体化するため、各々の所管にもとづき、企画・立案及び実施にあたる。

(財務)

**第14条** 協会の経費は、会費、補助金及び寄付金等をもって充てる。

- 2 協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会費)

**第15条** 協会の会費は、次のとおりとする。

- (1) 個人会員                      年額 1,000円  
    (ただし学生・生徒)      年額 500円
- (2) 賛助会員                      年額10,000円

(雑則)

**第16条** 本規約に定めるもののほか、本協会の運営に関して必要な事項は、理事会にはかって、会長が定める。

附 則

この規約は、平成元年7月22日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年5月24日から施行する。

附 則

この規約は、公布の日から施行し、平成14年2月2日から適用する。

附 則

この規約は、平成17年5月22日から施行する。

附 則

この規約は、平成21年5月31日から施行する。

附 則

この規約は、令和元年5月31日から施行する。

